

こんな活動です

学校支援ボランティアの活用による地域の伝統芸能活動の継承

活動名

かのや学校応援団
吾平地域学校支援本部

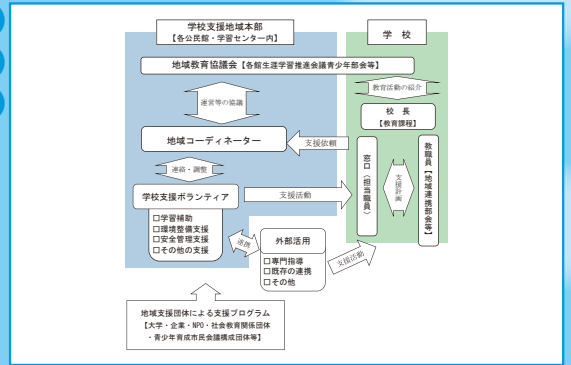
関係する学校名

吾平小学校

鹿児島県鹿屋市

基本データ	学校支援活動	統括コーディネーター数 1人	地域コーディネーター数 1人	ボランティア登録数 228人	学習支援 有	開始年度 23年度	国庫補助 無	ICT活用 無	企業・NPOとの連携 有	
	地域未来塾	統括コーディネーター数	地域コーディネーター数	ボランティア登録数	子供の平均参加人数	開始年度	国庫補助	ICT活用	企業・NPOとの連携	
	放課後子供教室	統括コーディネーター数	地域コーディネーター数	子供の平均参加人数	年間開催日数	開始年度	国庫補助	ICT活用	企業・NPOとの連携	
		実施場所		学習支援	放課後児童クラブとの連携					
	土曜日の教育活動	統括コーディネーター数	地域コーディネーター数	子供の平均参加人数	学習支援	開始年度	国庫補助	ICT活用	企業・NPOとの連携	
コミュニティ・スクール	指定日				委員数	児童生徒数	学級数			

体制図



活動の概要・経緯
約250年前から途切れることなく伝承されてきた「八月踊り」だが、高齢化に伴い踊りや音の継承が難しくなってきた。そのため、有志により保存会を立ち上げ、音の明確化（楽譜におこす）の作業や、踊り・唄などを伝承する活動が始まった。また、中央町地区子ども会育成会での伝承活動が展開され、郷土の伝統芸能を次世代へ引き継ぐ活動が行われるなか、学校のニーズと地域の思いが一致し平成23年度より協働体制が生まれ実施され、今年度で5年目を迎える取組である。

● 活動の特徴・工夫

【特徴的な活動内容】

学校からの吾平地域の伝統芸能を子供たちに体験させたい、保存会の方々の次世代に継承したいとする思いから、平成23年度より実施され今年度で5年目を迎える取組である。後継者不足に悩む伝統芸能において、特定の地域の子供だけでなく学校全体を通じて継承することで、広く知ってもらえることができる。

今後、連携・協働が広くなり、子ども会や地域の女性連等の社会教育関係団体との連携・協働も構想している。多くの地域住民の有志が子供たちのためにだけでなく、多くの住民が地域のコミュニケーションの場とあることが期待される。

【実施に当たっての工夫】

吾平町八月踊り保存会の方々の協力を得て、毎回実際の踊り手・唄い手・太鼓・三味線奏者の方々の協力のもと、八月踊り子ども会で活躍している子供たちにも踊り手（指導者）として指導していただいている。また踊りの継承を通して、八月踊りに関わる歴史の学習機会を設けている。また、年代の違う方々とのふれあいを通してコミュニケーション能力の育成にも力をいれ、基本的な「あいさつ」や「目上の方を敬う」など、地域の生活文化を大切に指導をいただいている。

● 事業を実施しての効果・成果

事業を実施する前は、伝承活動を行っている地域の子供しか知らなかった事を学校で継続して実施する事により、より多くの子供たちに伝統芸能の良さを知ってもらうことが出来た。また、興味を持つ子供が増え、結果的に奏者や踊り手などの確保にも繋がっている。平成26年度からは吾平町で伝統芸能祭が催され、大勢の前で披露する事により自分たちの生まれ育った町に残るものに対する誇りと、絶やしてはならないという強い責任感が生まれた。生涯学習の観点からも、異世代間の交流を通して学び伝えることの楽しさや、高齢者の活躍の場が広がり子供たちと地域住民との絆も広がっている。

● その他

NPO等：大隅広域公園・始良川河川愛護会・小鹿酒造(株)・倉岡建設・吾平町文化協会・Aコープ吾平店・NPO法人緑のカーテンプロジェクト九州・JICA デスク鹿児島

内容：河川見学・町たんけん・ソーイング・伝統芸能体験・さつまいもの苗植え・グリーンカーテン・楽器演奏・昔遊び・戦争体験・たこあげ・豆腐作り・そろばん・卒業生による学校自慢



運動会での披露にむけて



保存会 踊りの伝承